

乳・幼児期
(0～6歳)

小学校期
(7～12歳)

中学校期
(13～15歳)

高校期
(16～18歳)

(4) 小学校後期 (10～12歳)

小学校後期の保護者に向けて応援メッセージ

学校行事や習い事で、土曜日も日曜日も休みなし、ということもあるかと思います。しかし、休養、息抜きはとても大切です。おいしいものを食べたり、自分の好きなことをしたりして、ストレス緩和を心掛けて！

この時期は、一方的な要求や叱責ではなく、こどもとの対話を大切にして、こどもが他者との関係の中で自分の存在を認められるように支援することが大切です。

他者意識の芽生え

- 他者との関係の中で、自分のことを考えたり、他者への接し方を考えたりするようになる。
- 他者との関係の中で、善悪の判断がつく。
- 自分の感情や欲求を抑えることができる。
- トラブルを解決しようとすることができる。
- 失敗から学ぶことができる。
- 集団の中で、自分の役割を意識し、責任を果たそうとする。

保護者の関わりは？

- ☆ こどもと周りの友達との関係を支えましょう。
 - ・ こどもの人間関係を把握する。 ・ 金銭やものを与えすぎない。
 - ・ 地域行事や体験活動にこどもと一緒に積極的に参加する。
 - ・ こどもが失敗したり悩んだりしているときは、よき相談相手となる。
- ☆ こどもの自己有用感（自分が必要とされていると感じる気持ち）を育てましょう。
 - ・ 家族の一員としての役割をもたせることで「自分は家族の中で、なくてはならない大切な存在である」と感じさせる。
 - ・ 学習やお手伝いなど様々な経験を積ませることで「自分は自分なりにやっていける力がある」と感じさせる。
- ☆ スマホ等購入の際は、必ずフィルタリングを設定し、どのアプリをどれくらい使っているかを親子で一緒に確認しましょう。

(※ こども家庭庁 スマホ・ネットのある時代の子育て 児童・生徒編より)